



森ボラ 通信

第56号 2007年1月20日発行
N P O 法 人 北 海 道 森 林 ボ ラ ン テ ィ ア 協 会
札幌市中央区南2条西2丁目金市館ビル8F
Tel:241-8155 Fax:241-8308
E-mail:h-shinrin-v@indigo.plala.or.jp
URL:<http://www.geocities.jp/hokkaidoforest/>

■トピックス

◆森林ボランティア交流会

1月20日(土)13時30分 リンケージプラザ第3研修室
参加者15名、外部団体より21名計36名参加。会場はほぼ満席。

北海道、石狩、北広島、当別の各森林ボランティアの4団体の交流会が開催されました。オブザーバー的に「藻岩きのご観察会」より中田会長および石狩支庁より3名の関係者が参加されました。

前段は各団体代表者からの活動報告でした。作業内容的には各団体とも大差はありませんが、行政側の森林ボランティアへの対応に温度差がかなりあることがわかりました。

石狩支庁林務課の藤本主査から道としての森林ボランティアへの対応について発言を頂戴しましたが、まだ試行錯誤の段階で気持ちのあることは伝わりましたが、近々に実現する感触は得られませんでした。

後段はパネルディスカッション的に、各団体の代表者1名ずつが対面式に出てもらい、当協高野事務局長の司会のもとに活動資金など課題について司会者の質問に答えてもらいました。活動資金はそれぞれの団体ともに苦労していることがよくわかりました。活動交通費、事務局人件費それぞれの団体の大きな課題として残しているようでした。16時に終了。

場所を近くの万田林に移し18名参加のもとに、懇親会を行いました。今後この交流会を継続する方向で合意し、次回の開催を持ち回り式で北広島が担当することになりました。



◆冬期除伐の試み



協会の晴れ伝説はまだまだ続きます。2007年の活動初日は1月17日で15名が雪の澄川に集合しました。やれバスでとか清掃事務所に駐車お願いするかとか事務局は下見までして苦労しましたが結論は駐車場を除雪してあずましく活動初日となりました。

昨年秋に架設の木道は雪をかぶっていましたがしっかりしておりひとまず安心して渡りました。二人ほど落ちてしまいましたが、除伐は活動地の最南西部で写真のように「二本仕立て」除伐し、巨木の森を目指します。除伐した材はキノコ栽培のホダ木となります。

紅一点木戸さんは小さな腰ノコではじめて木を倒してはしゃいでいました。

今年の活動もこうやって晴れて楽しく始まりました。
(酒井 記)

2日目も参加15名。この日の紅一点は草原さん。前日は薪ストーブを持ち込みまして昼食は杉本さんによる熱々のインスタントラーメン、作業の終わりには味噌汁が用意され胃袋から暖められて満ち足りた思いで帰路につきました。「明日は豚汁をやるぞ、材料はもう買ってある」ということだったのですが、突然のご不幸があったとかで、杉本さんは欠席。あて外れもなんのその、昨日の除伐材を集めながらの作業を進めました。概算で300本のホダ木が確保できたと思われる状況でした。(高野 記)

◆ 1月セミナー きのこの不思議

1月12日(金)参加16名 午前10時開始。三浦清元北大教授による遺伝子レベルの解説もあり、菌類の奥深さに唾然茫然、生物現象の不思議を改めて確認する思いでした。現実的な話としては中国から輸入した乾燥シイタケの残留農薬を疑えるカビが生えない話は、切実でした。

ホダ木の冬期伐採の必要性についても確認できましたし、その後の作業手順が図解された資料を共有できたことで、澄川キノコ事業を発展させる意欲が出てきたことでした。(高野 記)



◆ 1月例会と新年会



1月10日(水)リンケージプラザ、参加20名スクリーンに向かってU字型に机を並べ替えて、澄川の冬期作業に対する意見交換等々なごやかに推移しまして、最後に酒井さんの木道建設の報告をプロジェクトで画像を見ながらの説明で閉めました。

新年会は参加15名例によってオーロラタウン「銀座ライオン」に繰り込み楽しい一時を過ごしました。(高野 記)

◆ 木工仕事納め

12月26日(火) 参加22名 於：杉本邸

今年も木工の最後の日ということで、いつも使わせていただいています杉本邸作業場の清掃、整理整頓を行いました。今年は雪が少なく例年になく暖かい日々が続いていましたが、やはり冬です。暖かいとは言ってもこの薪ストーブで一度暖まり始めると離れがたいものがあります。その様な誘惑を振り切って皆さん忘年会の準備をしてくださいました。今回もまた、皆さん、得意料理を持ち寄ってくれた人、お酒を持ってきた人、美味しい食材を持ってきた人等々で沢山のお酒と料理が卓上に並びました。また傍らのストーブの上では鹿肉の焼肉も!!



酒井代表の挨拶の後、この1年誰も怪我をせずに終えたことを祝して乾杯し、美味しい料理を食べながらこの1年を振り返り、また来年はあれもしたい、これもしたいと各自の思いを話しました。今年、昨年以上に遅くまで楽しい宴が続きました。

木工作业も楽しいのですが、この様な語らいの場も本当に楽しいものです。この場所を提供してくださっている杉本夫妻に今年も感謝、感謝!! (荻田 記)

■今月の幹事会

出席者：荻田、酒井、柴田、杉本(茂)、高野(豊)、津金、西野(悌)、棟方、山中、和田

1 5周年記念行事および実行委員準備

- 記念企画旅行 企画実行委員 和田、柴田、津金に一任
- 記念誌(文集)発行 年表、ボラ通記事抜粋、写真集等等 高野、西野(悌)、柴田
- 祝賀会は内々のみで、忘年会を兼ねて札幌市内で行う。

2 森林ボランティア交流会役割分担

- パネルディスカッション
- 司会 高野
- パネラー 酒井、各団体から代表者1名ずつ
- 懇親会→荻田

3 2月セミナーの確認

- 講師は20日の交流会で森づくりセンターにお願いします。

- 4 冬期作業の確認と是非
→1月の澄川除伐参加者多数につき、2、3月も計画する。週1ペース
- 5 神宮境外林巨木調査
→3、4月に実施開始する。事前準備として空中写真によるサーベイ
- 6 セブン・イレブン支笏湖19年度参加
→根踏み(18年度植栽地他) 5月1日(火)
→新規春植え(1畝 役1000本) 5月20日(日)
→草刈(18年度植栽地他) 7月7日(土)
- 7 1月号ボラ通記事担当
木工仕事納め→荻田、1月セミナー→高野、澄川冬期除伐→酒井、ボランティア交流会→高野
念頭所感→酒井
- 8 その他
ニトリタ張支援サクラ1万本プロジェクトに賛同。積極支援を行う。

会員の動向：なし

■ おしらせ

◆ 2月セミナー

日時：平成19年2月9日(金)13時30分より
場所：リンケージプラザ
講師：森づくりセンターより
林試式炭化炉による炭焼きのコツ

◆ 3月セミナー

日時：平成19年3月20日(金)13時30分
場所：リンケージプラザ
講師：13時30分より
西野さん「北海道遺産」について
14時30分より
寺沢実(北大教授)「樹液のはなし」
セミナー終了後場所を変えて「寺沢教授を囲む飲み会」
を行います。参加自由。
会費2500円程度

◆ 藻岩きのご観察会講演会のお報せ

第4回 きのご講演会&写真展

「森林生態系内で菌類(キノコ)が果たす役割」
～里山林(ミズナラのきのご達)～

講師 高橋 郁雄(農学博士) 著書「新版 北海道きのご図鑑」

ミズナラの樹木と共生している菌類・外生菌根菌について、100枚近くのカラースライド写真を用いて、
わかりやすく、楽しく解説していただきます。

日時 平成19年1月28日(日)16:00～17:00 受付 15:30～

会場 ホテルロイトン札幌2F 札幌市中央区北1条西11丁目 Tel 011-271-2711

参加費 500円(小・中・高校生は無料)

申込み 申込みは不要。当日参加も受付いたします。多数のご参加をお待ちしております。

主催 藻岩山きのご観察会

お問い合わせ 電話またはEメールで下記へ御願いたします。

藻岩山きのご観察会事務所(中田)

〒064-0944 札幌市中央区円山西町8丁目5-1-202

藻岩山きのご観察会 会長 中田ようこ

tel/fax (011)631-8344

E-mail nakata.03-m.k.k@jcom.home.ne.jp

HP <http://www.community.sapporocdc.jp/comsup/m-kinoko/>



除伐しないでいられましょうか

■活動履歴

活動日	行事	参加人数	活動内容
1/20	森林ボランティア交流会	15+21	活動発表、課題追及、懇親
1/18	澄川	15	冬期除伐
1/17	澄川	15	冬期除伐
1/12	セミナー	16	三浦清 きのこ栽培のはなし
1/10	新年会	10	オーロラタウン ライオン
1/10	会員例会	20	
1/9	幹事会	10	
12/26	木工	21	清掃、仕事納め
リンゴ園	冬期作業なし		

■ひとこま

年頭所感 5周年を迎えるに当たって 代表幹事 酒井 和彦

新年あけましておめでとうございます。

新しい年2007年は北海道森林ボランティア協会にとって記念すべき5周年を迎えます。2001年暮れからの数回にわたる森林保全セミナーを経て2002年6月協会が設立しました。2004年5月には横山清理事長を迎え、会はNPO法人化しました。

地球環境の向上や、自然との共生を願う同士が集い、森林の育成・保全を目的とした活動を展開してまいりました。種子の収集から苗畑管理、被害地や無立木地の地拵りから植樹、下草刈りなどの管理、除伐間伐、外来樹種の除去、ホタルとミズバショウ保護のための木道架設、廃材利用の椎茸栽培、木工製作フリマでの販売、中学校総合学習支援、リンゴ園支援、海外植林指導、冬季勉強会と多彩な活動内容、人員参加によって発展してまいりました。年に700人・日の活動とホームページアクセス数は日本有数と自負いたします。2005年9月北海道を襲った台風18号の被害対策を主体にした外部企画のボランティア活動にも積極的に団体参加して参りました。

さて5周年記念事業としていくつかの素案ができて各プロジェクトチームにて検討に入っておりますがその資金につきましては会員、賛助会員の皆様のほか一般の企業・団体にもお願いをしなければなりません。記念誌出版、FSC認証林見学と記念植樹、5周年記念謝恩パーティーのいずれの企画も必ず成功するよう理事幹事全員が全力を尽くす所存でございますのでよろしくご後援のほどお願い申し上げます。

最初の5年間は大きな事故も無く森林保全活動をして参ることが出来ました。なによりの誇りであります。来る5年間も安全を最優先に活動してゆく所存であります。今後とも特段のご協力を重ねてお願いし新年のご挨拶といたします。

また会員に置かれましては会の共通目標である森林保全の積極推進とともにそれぞれの健康増進等の個人目標を今年もつつがなく達成されますよう心よりお祈り申し上げます。

5周年記念文集を発行するについて、寄稿文を募集します

前掲の酒井代表幹事の抱負にあるように、記念誌をつくりましょう。各自今から準備をお願いします。他に5周年記念行事を考えましょう。楽しい案がありましたら2月中に事務局まで提案してください。19年度の事業計画に織り込みます。木工グループを中心にした作品展なども面白いかと思います。(事務局)



除雪前の澄川入口